

布引アートに 600 名来場

三笠市の北炭幌内鉱布引立坑跡で、昨年10月3日～11月3日の土日祝日に限って「幌内布引アートプロジェクト」を開催。12日間の会期で延べ600名（+制作過程公開のプレ期間9/20～9/27の6日間で30名）の方に来場して頂き、盛会のうちに無事閉幕しました。

今回のアートインスタレーション（芸術の仮設展示）は、2004年の住友赤平立坑周辺での開催に続いて2回目の試みです。布引立坑跡は、1989（平成元）年の閉山以来、絶えて訪れる人がいませんでしたが、札幌市立大学デザイン学部の上遠野敏教授と美術部 noumenon の学生、札幌のデザイングループ SARD（札幌地域デザイン研究会）の皆さんによる、「場の記憶」を生かしたアート展示で歴史的な空間が蘇りました。

最終日11月3日には多量の雪が積もり、会場は全く異なる雰囲気を醸し出しました。晩夏の雰囲気が残る頃の展示作業から、秋の公開期間を経て冬に至るといふ、北国の季節感をも表現する展示会となりました。

来場者の1/3を占めた元炭鉱関係者からは「このような機会でもないと見に来れないので良かった」という声を、同じく1/3を占めたアートに興味がある方々からは「場の持つ力に圧倒された」という感想を多く頂きました。これまで、当NPOの活動と関わりが薄かった多くの方に来場頂き、活動の幅が広がりました。

上遠野先生と市立大学生の皆さんには、NPOで借り上げた幌内市街地の民家に、週末のたびに泊まり込んで、展示や解説にあたって頂きました。

現地での展示終了後には、11月末から年末にかけて、札幌（アートギャラリーCAI 02）と岩見沢（NPO マネジメントセンター）で、報告展を開催。現地に来れなかった方を中心に、多くの観覧者がありました。

札幌では、札幌トリエンナーレ（3年に一度開催される大規模な国際美術展）を開催しようという動きがあります。空知の炭鉱遺産空間は、北海道の地域性・歴史性を表現する素材として貴重であり、今後は札幌での動きとの連携を指向して参ります。

深まる英ウェールズとの交流

社会学を中心とした大学教員・院生で構成される産炭地域の研究グループ JAFCOF（代表：中央大学法学部・中澤教授）は、5年間で4千万円規模の研究補助金を獲得して、空知産炭地域をメインフィールドとした研究に着手しました。

昨年8月には、比較研究の対象としている英・南ウェールズ産炭地域からスウォンジー大学ウィリアム教授など一行4名を迎え空知でフォーラムを開催、9月には吉岡理事長が JAFCOF メンバーとウェールズを訪問してきました。炭鉱の記憶アーカイブスの構築に向けた研究成果が期待されます。



法政大学「イノベティブ・ポリティー賞」授与が決定

法政大学地域研究センターから当NPOに対して、第7回「イノベティブ・ポリティー賞」が授与されることが決定しました。受賞対象の活動は、空知における産炭地域活性化事業で、これまでの取り組みを評価して頂きました。当NPOの他に、NPO 北海道グリーンファンド（グリーン電気料金制度と市民風力発電事業）と、新潟製粉㈱（新潟県胎内市の米粉高度技術製粉事業）が同時受賞しました。

このような栄えある賞を頂けるのも、会員の皆様のご支援の賜と感謝申し上げ、ともに喜びを分かち合いたいと思います。授賞式と記念小講演は、1月19日（日）に東京の法政大学市ヶ谷キャンパスで行われ、吉岡理事長が出席してきます。



お立ち寄り下さい…岩見沢 マネジメントセンター

岩見沢の「そらち炭鉱の記憶マネジメン
トセンター」は、8月17日開設以来、日に日
に内容・体制・施設を充実して、多くの方
にご利用頂けるようになってきました。

事務所は、1928（昭和3）年建築の木
骨石造事務所と、1909（明治42）年建
築の石造蔵からなっています。175㎡（53
坪）の広々スペースは、様々な展示やイベ
ントにも対応できます。伝統的建築物なの

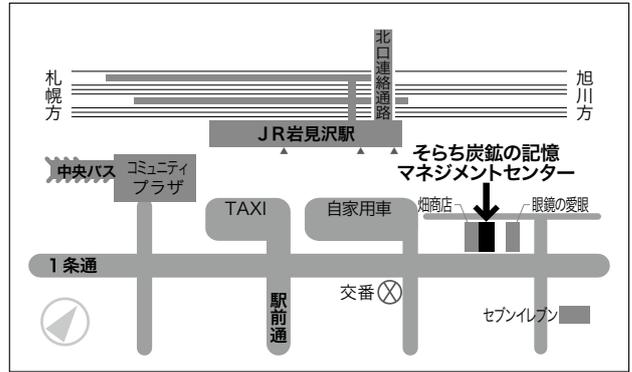


で、冬の寒さは厳しいで
すが、4台のストーブと、
スタッフの熱気で皆さん
をお迎えしています。

JR 岩見沢駅から徒歩
1分という好立地のため、
「列車の待ち時間に…」
「岩見沢で会議があった
ついでに…」 来訪される
方も結構おられます。最

最近では、「炭鉱の資料をゴミとして捨てよう
と思ったけど…」 「昔撮った写真があるけど
…」 という方も現れてきています。もちろん、
書籍・写真・映像資料・備品など、炭鉱に
関係のあるものは、全て受け入れています。

センターには、酒井裕司事務局長をはじ
め5名のスタッフが駐在しています（空知
支庁の補助事業で運営していますが、補助



要綱上から NPO 役員は職員になれないた
め、酒井裕司さんには理事を辞任して事
務局長に就任して頂きました。ご紹介が
ちょっと遅くなってしまいましたが、スタッ
フのプロフィールを下記に掲載します。ど
うぞ、お気軽にご来場下さい。

●3月末（冬季）までの開館時間
11:00 ~ 17:00 火曜休み

酒井裕司 事務局長

1965年札幌に生まれ、小・
中・高校と市内で過ごし、
大学時代は弘前で農学を
学びました。卒業後は造
園コンサルタントにてデザ
イナー・プランナーとして
公園緑地・景観・まちづくりなどの業務に従
事してきました。2000年に以前より興味を持
っていたドイツ・ルール地域「エムシャーパーク
プロジェクト」の視察を契機に、デザイナー
仲間とともに三笠幌内炭鉱跡での「幌内炭鉱
景観公園」づくり、幌内線跡を舞台とした「線
路の灯」などに関わってきました。
岩見沢での「そらち炭鉱の記憶マネジメン
トセンター」開所にあたり、NPO 理事を辞任し、
“現場担当”として事務局長となりました。
今後ともそらち炭鉱の記憶の保存・活用、新
たな価値創造を通じて、空知らしい地域づく
りに関わっていきたいと思います。どうぞよろ
しく願いいたします。そして、ぜひ岩見沢
駅近接の当センターへご来館ください！

★獅子座、●A型、■趣味；旅行・サッカー・
アート活動・単車など



前田亜紀 事務局長次

8月からセンタースタッフに
加わりました、前田亜紀で
す。
出身は島根県、石見銀山
のある大田市です。ヤマ違
いですが、今回センターで
仕事をするようになったのも、何かの縁かもし
れない…と思う今日このごろです。
高校までは父の転勤で島根県内をあちこち
引越したのち、大学で茨城へ。その後、東京
で花の(?) OL 生活を経て、結婚を機に
北海道へ上陸。それから、旭川で約20年、
某放送局や保険会社、旅行関係の NPO など



で仕事をしていました。
趣味はお寺めぐり（というか開法）と山菜採り。
犬2匹と同居中です。
センターには、炭鉱で働いていた方々や炭鉱
に興味のある方からの問い合わせも徐々に増
えてきて、「炭鉱に関する事ならまずはココ！」
という場所が待ち望まれていたんだと日々感じ
ています。センターを通して炭鉱に関わる人々
とともに、地域人も生き生きするような活動
をしていければと思っています。

北口博美 事務局長

はじめまして。岩見沢出身
の北口と申します。旅行と
温泉が好きで、趣味をそ
のまま仕事に繋げる事がで
き、これまで旅行会社やホ
テルで勤務してきました。
今まで炭鉱遺産などはじっくり見た事もなかつ
たのですが、空知のこんな身近な場所に沢山
の痕跡があり、「ここがあって今がある…」と
いう様々な事を考えさせられる毎日です。
炭鉱にいろいろな思いがある皆様と、これか
らの空知の活性化のために、何かお役に立て
る事はないかと思っています。どうぞ近くへ
お越しの際には気軽にお立ち寄り、いろい
ろなお話をお聞かせ下さい。よろしく願い
致します。



塩尻圭奈子 事務局長

事務局長として8月から勤
めております、塩尻圭奈子
です。月形町に生まれ育
ち、小・中学校は月形町立
の学校へ通い、高校は岩
見沢市立緑陵高等学校に
通っていました。その後、浅井学園大学（現・
北翔大学を）を卒業後、大学の後半から始め
たスキューバダイビングでインストラクターの



資格を取得したのをきっかけに、1年間、石
垣島でスキューバダイビングの仕事に携わ
った後、北海道に帰って来ました。その後は、
石狩美術館で勤務した後、現在に至ります。
現在は月形町在住で、オカメインコを一匹飼
っており溺愛しています。
寒がりなので冬は嫌いです。冬になると、ち
ょくちよくストーブにかじりついています。
空知は生まれ育った地域ですが、センターに
勤める前は、炭鉱のことはあまり知りませ
んでした。本当に色々勉強になる毎日です。
こんな私ですが、生まれ育った空知地域の活
性化に一役買えれば、と思っています。

佐藤真奈美 研究員

皆様こんにちは。研究員の
佐藤真奈美です。札幌国
際大学大学院で吉岡理事
長のもと、炭鉱遺産を活用
した観光まちづくりを研究
していた縁で、マネジメン
トセンター開設時にスタッフとして加わりま
した。
出身は温泉天国・大分県別府市です。炭住
の暮らしと同じく自宅にお風呂がないため、
毎日銭湯に行っていました（銭湯＝温泉です
けどね）。京都の大学で地理学を学び、就
職で北海道に来ました。家族は私以上に炭
鉱が好きな夫と2歳の息子、それともう1
名、今春デビュー予定の者がお腹にいま
す！
私の主な仕事は、理事長のヒミツを他の
スタッフに吹聴すること…ではなく、空知
産炭地域を学術的な見方で捉え、わか
りやすく解釈し、皆様と繋いでいくこと
です。修士論文のフィールドである夕張
と、ちょこっと三笠を勉強して
いますが、まだまだわからないことば
かりです。ぜひ皆様には、いろい
ろと教えていただきたいと思
っています。よろしく願い
いたします。

